

資料 09年・全国各新聞の社説・論説欄にみる改憲論調（桂作成）

- (1) 日本新聞協会が収集の新聞中、関係記事が見出せた 53 社 56 紙（09 年 5 月 3 日前後の発行号）の論調傾向を判定。月日記載のないものは 5 月 3 日付。
- (2) 新聞ごとに題号、社説等の主な見出し、部数（単位：万部。ABC・08 年 1～6 月平均）を記載。見出し冒頭の「社説」「論説」の標示は省略した。

[1] ○9条を中心に「護憲」：33社35紙 合計約2,491万（全体の56.5%）

朝日新聞	憲法記念日に 貧困、人権、平和を考える	804
毎日新聞	憲法記念日に考える もっと魅力的な日本に軍事力の限界見据える	388
中日新聞（東京新聞・北陸中日新聞）（3紙）	憲法記念日に考える 忘れたくないもの（生存権の保障は自前ほか）	344
北海道新聞	憲法記念日 いま生きる手だてとして（深まる生存の危機ほか）	119
西日本新聞	憲法記念日に考える 変えたらどんな国になるか	85
釧路新聞（→）	憲法週間に寄せて（寄稿。鈴木淳史釧路地検検事。社説常設なし） 真に人権守られる世紀に 日本国憲法の精神考えよう	☆6
デーリー東北	時評 62 回目の憲法記念日 憲法観をマニフェストに	11
陸奥新報	時事随想 憲法改正国民投票法 日本の宝 第九条の価値 （神田健策弘前大教授。日曜は社説なし）	☆4
河北新報	憲法「生存」の土台見つめ直して	49
秋田魁新報	きょう憲法記念日 平和の重み胸に議論を	26
北羽新報（→）	生存権から格差社会を考える 憲法を活用する姿勢を （寄稿：伊藤真。社説常設なし）	☆3
福島民報（→）	日本国憲法は未来への足場 （文化欄寄稿：詩人、アーサー・ビナード。日曜・論説なし）	30
下野新聞	憲法記念日 非正規労働者と生存権	32
埼玉新聞（△）	憲法記念日に寄せて 法を支えるコトバ（憲法前文の「声」の意義） （5月1日寄稿 山根薫さいたま地検検事。社説常設なし）	☆16
千葉日報（▲）	日本国憲法は未来への足場 （文化欄寄稿：詩人、アーサー・ビナード。社説常設なし）	☆15
神奈川新聞	憲法記念日 社会保障の抜本改革を	22
山梨日日新聞	憲法記念日 身近な存在として考えよう（5月2日）	21
信濃毎日新聞	憲法を生かす（1）取り戻せ 主権者の地位（5月2日） 同 （2）いのちの土台立て直せ（同 3日） 同 （3）危うい空気に警戒を（同 4日） 同 （4）子どもは権利の担い手（同 5日） 同 （5）表現の自由が危ない（同 6日）	49
新潟日報	喪失の時代と憲法 日本再生の指針として	49
北日本新聞	憲法記念日 生存権が輝き増すように	25
京都新聞	憲法と裁判員制度 「国民主権」が生かせるかが鍵	51

神戸新聞	憲法記念日	もう一度、暮らしの隅々に	56
南紀州新聞 (→)	コラム「水平線」	憲法記念日に	☆1
山陽新聞	憲法記念日	「主権者と」は何だろう	47
中国新聞 (△)	憲法 25 条の今	生存権 空洞化させるな	71
徳島新聞	憲法記念日	暮らしの向上に生かそう	25
高知新聞	憲法の生存権	「人間」を政策の中心に	22
熊本日日新聞	憲法記念日	意義を冷静に確認する時	36
南日本新聞	憲法記念日	暮らしの中から国の姿を自問したい	38
沖縄タイムス	憲法と沖縄	人権保障の砦が危ない	☆21
琉球新報	憲法記念日	平和の理念再確認したい 拡大解釈は許されない	21
宮古毎日新聞 (→)	コラム「行雲流水」(中央・地元の九条の会回顧)		☆2
八重山毎日新聞	「論壇」憲法記念日を迎えるに当たって (海賊対処法案反対)		☆2
	(寄稿 仲山忠亨歴教協八重山支部。日曜日・社説なし)		
	平成 21 年 憲法記念日メッセージ 大浜長照石垣市長		

[2] △ 9 条を中心に「護憲的論憲」: 14 社 14 紙 合計約 346 万部 (全体の 7.9%)

東奥日報 (○)	憲法記念日	現実との溝よく考えたい	26
岩手日報 (○)	憲法記念日	あるべき姿 議論深めよ	23
福島民友新聞	日本国憲法	静かな今こそよく考えたい*	20
茨城新聞 (○)	憲法記念日	国民の権利を問い直そう*	12
上毛新聞 (→)	憲法記念日	国民の権利問い直そう*	31
静岡新聞 (▲)	憲法記念日	もっと使い込む努力を	72
岐阜新聞 (○)	あす憲法記念日	国民の権利を問い直そう (5 月 2 日)*	18
福井新聞	憲法記念日	国家の姿、国民主権を問う	21
日本海新聞	憲法記念日	国民の権利を問い直そう*	18
山陰中央新報	憲法記念日	国民の権利を問い直そう*	18
愛媛新聞 (○)	憲法 09 改正論議	「機は熟した」といるのか	32
佐賀新聞	憲法記念日	国民の権利問い直そう*	14
長崎新聞 (○)	憲法記念日	国民の権利を問い直そう*	18
大分合同新聞	憲法記念日	国民の権利を問い直そう*	23

[3] ▲ 9 条を中心に「改憲的論憲」: 2 社 2 紙 合計約 6 万部 (全体の 0.1%)

ジャパンタイムズ (△)	核軍縮に向けて (オバマ核全廃演説 vs. 中曽根外相核軍縮構想)	4
東愛知新聞 (→)	コラム「古今東西」(押しつけ憲法批判) (5 月 2 日)	☆2

[4] ■ 9 条を中心に「改憲」: 4 社 5 紙 合計約 1,564 万部 (全体の 35.5%)

読売新聞	憲法記念日	審査会を早期に始動せよ	1,003
日本経済新聞	日本国憲法を今日的視点で読み返そう		306

産経新聞	主張 憲法施行 62 年 脅威増大を見過ごすな	220
	9 条改正して国の安全を守れ	
北国新聞（富山新聞）（2 紙）	憲法記念日 「思考停止」から抜け出して	35

総計 53 社 56 紙 約 4,407 万部（100.0%）

- (注) ① 各区分の[数字]のあとの記号○は護憲、△は護憲的論憲、▲は改憲的論憲、■は改憲。
紙名のあとの（記号）は前回区分。（→）は前回登場がなかった社。
- ② 前回登場で今回退場の新聞は、○＝山形・常陽、△＝岩手日日・四国・宮崎日日。
- ③ ＊印は、共同通信配信の論説資料が参考にされていると推定される。
- ④ 部数は 1,000 の位で 4 捨 5 入。☆は A B C 未加入・自社公称部数。

以 上